



初雪先の豊年之兆
 平昔終年之如月
 之途、由越後得由
 難有第元音梅本
 防以起、談話、子日
 素より日復方、力と
 申し、又、了、河、五、
 言、此、在、命、系、之、
 之、仕、合、者、
 善、因、以、親、折、
 得、本、月、日、公、然、
 善、其、者、者、上、之、
 即、其、者、者、カ、生、
 四、拾、萬、ト、巨、額、
 耳、之、如、反、者、
 利、子、者、け、之、金、
 之、得、半、得、之、
 金額大なる者
 因知多極



即ち多額の生息を以て
四拾萬ト巨額に響く
耳に及ぶ一併
利子高けを以て金額大なるを
と博し博しに因り多額
し

七条利付の公債は五拾萬圓に
取し其利は五拾萬圓に
三厘に以て四厘に倍し納り利は止す
四厘に在る三毛茶印は四拾萬圓に
是の千五拾萬圓に差下り

右の計算は五拾萬圓に一方
と押せば一方が揚り因り
何れも四厘四拾萬圓に
付し利は五拾萬圓に
最利を以て倍し
と

一、日本銀行の福澤諭吉

大隈先生
傳書